厚生労働省ご担当様

2020. 3. 30

日本自閉症協会 会長 市川宏伸

千葉東庄町の北総育成園での新型コロナ集団感染を受けて、障害者福祉施設での再発防止のための当面のお願い

新型コロナから利用者を守ることが現在のもっとも重要な支援だと考えています。

当協会に関係者から今日までに寄せられた要望を列記します。

1. 全般

a. 今回の北総育成園での集団感染で分かったことを至急フィードバックして欲しい。

(推定でもよいので、それを参考に、各施設で現在行っている感染予防を見直せます)

例：・侵入経路と感染拡大の経過

- ・保護者の訪問や帰宅ルール、マスクやアルコールなどの利用状況
- ・職員と利用者の健康管理基準、それで十分だったか

b. 専門家による各福祉施設への**感染予防の指導**（当面は指針でも）

長期戦となることから、今後、感染症の専門家による施設における感染予防のテキスト作成や講習会の実施

2. ウイルスの施設内への持ち込み防止に関して

・**必需品不足の解消**：マスク、手袋、手指消毒用洗剤や除菌用アルコール、防護服などの感染予防必需品を医療機関同様に施設も優先的に入手できるようにしてほしい（参考資料）

除菌用アルコールは携帯用容器も必要

皮膚アレルギー者のための手指消毒用剤の代用品の紹介

マスクは使い捨てマスクを

防護服の使い方の指導

- ・予防的検査はできないのか（症状のない感染者が感染を広げているのではないか）
- ・感染が疑われる支援職員や利用者が出た場合、疑いの段階で予防的検査が出来ないか。
- ・検査結果を得ることを早められないか。（検査結果を待つ間に感染が拡大する）
- ・体温測定方法など基本的な事柄の正しい知識の普及と徹底
- ・精度高く簡単に体温を測れる機器の紹介（接触回避）
- ・外出規制（自粛要請であれ、指示であれ）について

支援者（保護者含む）との、人と接触のない屋外での散歩などは容認されること。

（施設内、居室内に閉じ込めることは不安定につながるため）

3. 感染者やその疑いがある職員や利用者が生じた場合の施設内感染拡大防止

- ・施設内隔離の方法と支援の方法の指針
- ・感染者および疑いのある利用者をそうでない利用者と分離することが施設内だけでは限界がある場合の地域の協力態勢のお願い
- ・施設内で、陽性だが重症化していない複数の利用者を支援する際、防護服を着用して支援することは、着脱や障害者の予想される行動から考えて、なかなか現実的ではありません。現実的で感染リスクの少ない方法を専門家から示してほしい。
- ・施設や GH で利用者の行動範囲を制限するために居室や区域に施錠をすることの運用指針
- ・発生時の職員確保と応援体制
- ・支援施設と職員の経済的補償（事業継続が困難で閉鎖となることを防ぐため）

参考

必需品の必要量の例

利用者100名の施設「けやきの郷」の希望例。

6事業所分(障害者支援施設、生活介護事業、就労継続 A 型、B 型、短期入所事業等)

消毒液 130L × 3ヶ月 = 390L

マスク 3300枚 × 3ヶ月 = 9900枚

手袋 3000組 × 3ヶ月 = 9000組

体温計 12本(高性能／赤外線対応)

以上